

千葉大学大学院園芸学研究科博士前期課程
2025年10月入学及び2026年4月入学

入 学 試 験 問 題

ランドスケープ学コース (環境健康学 領域)

指定科目 (Designated Subjects)

(注意事項)

1. この冊子は監督者から解答を始めるよう合図があるまで開いてはいけません。
2. 監督者から解答を始めるよう合図があったら、最初に解答用紙に科目名、志望領域、受験番号を記入すること。
3. 届け出た科目以外で受験すると失格となります。
4. 解答用紙が2枚以上ある場合は、それぞれに科目名、志望領域、受験番号を記入すること。

1. Do NOT open this question book until instructed by the supervisor.
2. Right after you are instructed to start the examination, fill in your subject, program, and identification number on the answer sheet.
3. If examinations are not taken in the designated subject, you will be disqualified.
4. When you use two or more answer sheets, write your subject, program, and identification number on each sheet.

緑地福祉学 1/1

問1. 以下の語句について説明せよ。

- (1) ストレスチェック義務化
- (2) バイオフィリックデザイン
- (3) サーカディアンリズム（概日リズム）
- (4) カンファーマー（樟脳）

問2. 兵庫県は都道府県で唯一、県認定の園芸療法士を養成・認定している。
その理由として考えられることを説明せよ。

問3. アメリカで園芸療法が広まったのは、第二次世界大戦後であると言われている。
その理由について、簡潔に説明せよ。

問4. 都市公園の中に、視覚障害者の方でも楽しめる園芸療法ガーデンの植栽計画
と園芸プログラムの提案を依頼された。

あなたはどのような植栽計画およびプログラムを提案するか。

- ① 全体のコンセプト
 - ② 植栽計画（使用する植物や配置）
 - ③ 園芸プログラムの内容
 - ④ 提案する上で、配慮したポイント
- の4点が明確にわかるように記述せよ。

なお、説明のために文章だけでなく、絵を描き加えてもよい。

環境教育学 1/1

問1. 子ども樹木博士ネットワーク事務局に登録された実施機関による「こども樹木博士」プログラムに関して、次について説明せよ。

- (1) プログラムの目的
- (2) プログラムの構成・内容
- (3) プログラムのインストラクターに必要な資質や適性と、身につけるべき知識やスキル等

問2. 「国連持続可能な開発のための教育の10年」について、日本がどのように関わったかも含めて説明せよ。

問3. プロジェクト・ラーニング・ツリーの「箱の中のものはなに？」は、次のような手順で行われるアクティビティである。

- ①フタつきで手を入れられる穴のあいた箱を用意する。
 - ②その箱の中に、種類の異なる葉（石や木の実などの自然物でもよい）を3種類程度入れる
 - ③アクティビティ対象者1人ずつに箱の中に手を入れてもらい、箱の中を見ないで中の葉を触ってもらう
 - ④対象者は、箱の中で触ったものと同じだと思う葉を探して持ってくる
- このアクティビティは何をねらいとしたものか説明せよ。

問4. 身近な空間に生育しているAという植物が、生態系に対して悪影響を及ぼす可能性があるとの調査報告があったとする。この調査報告について、自然科学に詳しくない人に説明する際に留意することを、次の観点を含めて説明せよ。

- ・ 科学的な情報としての正確さ
- ・ 調査結果は「可能性がある」という結果であったこと

健康機能植物学 1 / 1

- 問 1. 次の 5 つの用語の中から 2 つを選び説明せよ。
頂芽、形成層、長日植物、化成肥料、ノウフク JAS
- 問 2. 団粒構造を持つ土壌が植物の生育に適している理由について、団粒構造を持たない単粒土壌と比較しながら述べよ。
- 問 3. 脳の可塑性を促進させる“刺激が豊富な環境 (Enriched Environment)”には、(1) 社会的交流、(2) 運動量、(3) 複雑性、(4) 新規性の 4 つの要素が含まれていると言われている。園芸活動が持つ、これら 4 つの要素にはどのようなものがあるか、それぞれ具体的に述べよ。
- 問 4. 農業と福祉が連携し、障害者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがいを創出し社会参画を実現する取り組みとして農福連携が注目されている。その農福連携において農業者が障害者を直接雇用する際に用いられる障害者トライアル雇用制度について説明せよ。
- 問 5. 農福連携が有している農業経営体等と農村にとっての意義について、(1) 労働力の確保と (2) 農地管理と維持の観点で述べよ。

自然セラピー学 1/1

問1. 以下の用語について説明せよ。

- (1) 能動的快適性
- (2) 生体調整効果
- (3) UMIN (University Hospital Medical Information Network)
- (4) PRISMA (Preferred Reporting Items for Systematic Reviews and Meta-Analyses)

問2. 人のストレスーリラックス状態を評価する以下の生理学的測定指標について、測定方法（原理）とその指標を用いる意義を説明せよ。

- (1) 近赤外分光法による前頭前野酸素化ヘモグロビン濃度
- (2) 心拍変動性による副交感神経活動と交感神経活動

問3. 20歳代の健康な若年女性を対象に、木材由来の嗅覚刺激がもたらす生理的リラックス効果を明らかにすることを目的として、温湿度および照度を一定に調整可能な防音機能を有する人工気候室（人を対象とした快適性評価研究に用いられる環境制御室）にて、被験者実験を実施する。

この実験を計画するにあたり、以下の各項目について、注意すべき点や考慮事項を具体的に述べよ。

- (1) 刺激および対照条件の設定において注意すべき点
- (2) 刺激の提示方法において注意すべき点
- (3) 評価項目の選定とその理由
- (4) 倫理的配慮として必要な事項